

## 勝野支部長ご挨拶（要旨）



勝野 哲（かつの さとる） 東海支部 8 代目 支部長

本部から同窓会長をお招きし、浜松の惜春の会から東海支部の記念行事にご参加いただいたことを感謝申し上げます。

私は昭和 5 2 年卒業です。第一次オイルショックが昭和 4 9 年に起き、昭和 5 1 年卒業の先輩の就職は大変厳しい時代でした。そのような時代に東海支部は設立いたしました。

設立以来、中部電力が支部長を歴任し、中部電力 OB 会のようになりました。幹事会社を増やしたり、支部長を NTT の方にさせていただき、会員数が増えました。総会では同窓会長にもお越しいただくようになりました。先輩諸氏や本部の方のご尽力のおかげです。

2 年前に理工学部創立 7 5 周年の記念式典があり、その中で、藤原銀次郎先生や小泉信三先生の教を伝えていただきました。基礎力の大切さ、豊かな感性、グローバル化、まさに現在多様化している中で必要な教でした。

昨年度の総会では、伊勢神宮大宮司の鷹司尚武（たかつかさ なおたけ）先輩にご講演いただき、「ベストエフォート」の教をいただきました。

事務局の若い人たちも頑張っています。諸先輩方の教を若い人たちに伝えていくことは必要なことだと考えております。ぜひ懇親をしていただければと思います。



東海支部の将来を担う  
若手塾員とともに